



2020年12月22日
東日本旅客鉄道株式会社

「リアルタイム経路検索」実証実験の範囲を拡大します

- JR 東日本では、2020年1月から『JR 東日本アプリ』において、当社管内の各路線及び一部の直通区間の列車の遅れを反映した経路検索「リアルタイム経路検索」の実証実験を行っておりますが、このたび他の交通事業者と連携し、対象範囲を拡大することとなりました。
- 今後も各交通事業者と連携を拡大し、グループ経営ビジョン「変革 2027」で掲げた「シームレスな移動」の実現を目指します。

このたび連携予定の交通事業者は次の通りです。これにより、JR 東日本及びこれらの交通事業者のリアルタイム運行データを同時に用いた経路検索を提供できるようになります。
今後もさらに連携を拡大し、お客さまから一層選ばれる公共交通機関を目指します。

【連携予定の交通事業者等】

事業者	開始時期（予定）	内容
京王電鉄株式会社	2021年1月	・2020年度の東京都 MaaS 実証実験に合わせてスタート予定 ・京王線/井の頭線のリアルタイム運行データが対象
小田急電鉄株式会社	2021年1月中旬	・2020年度の東京都 MaaS 実証実験に合わせてスタート予定 ・小田急線全線のリアルタイム運行データが対象
西日本旅客鉄道株式会社	2020年度内	・詳細検討中（別途お知らせ）

※「リアルタイム経路検索」とは

「リアルタイム経路検索」は、交通機関に遅れが発生した際、その遅れを加味した検索結果を表示するものです（列車の運休および一部の臨時列車には対応していません）。

これにより、お客さまは最新の運行情報をもとに最適な経路や列車を選んで移動することができます。

(参考 1) JR 東日本アプリにおけるリアルタイム経路検索のサービス概要

現在のリアルタイム経路検索の対象路線は以下の通りです。

【在来線】

東海道線、横須賀線・総武快速線、湘南新宿ライン、京浜東北線・根岸線、横浜線・根岸線、南武線、山手線、中央本線、中央線快速電車、中央・総武線各駅停車、総武快速線、青梅線、五日市線、宇都宮線、高崎線、埼京線・川越線、常磐線快速電車/常磐線（上野～水戸）、常磐線各駅停車、京葉線、武蔵野線、上野東京ライン、八高線、伊東線、篠ノ井線、奥羽本線、仙山線、仙石線、東北本線、田沢湖線、仙台空港アクセス線

【新幹線】

東北新幹線、上越新幹線、北陸新幹線、山形新幹線、秋田新幹線

※『JR 東日本アプリ』の「経路設定」において、リアルタイム検索を「オン」にするとご利用いただけます。



※検索結果の画面について、当社が意匠権を取得しています。

(参考 2) MaaS に関する JR 東日本の取り組み

グループ経営ビジョン「変革 2027」において、移動のための検索・手配・決済をお客さまにオールインワンで提供する「モビリティ・リンクージ・プラットフォーム」を構築し、「シームレスな移動」「総移動時間の短縮」「ストレスフリーな移動」を実現することを目指しています。これにより、お客さまが 24 時間、あらゆる生活シーンで最適な手段を組み合わせるサービスを利用できる環境を実現します。

